利用可能性バイアスとは？すぐに頭に浮かぶ物事を優先しがちーホワイトボードアニメーション動画―

利用可能性バイアスとは、すぐに頭に思い浮かんだ事ほど、より起こり易い、より重要だと錯覚してしまいがちと言う意味です。

例えば、交通事故死と病気死を同じ位の頻度で起こると思っているが、実際は病気死の方が１６倍も死の原因として高いのだ。交通事故死が多いと錯覚しているのは、メディアなどがこぞって交通事故を報道するので、人の思い浮かびやすく、高い頻度で起こるろ錯覚してしまっているのです。

例えば、上司が社員のパフォーマンスを判断する時、最近起こった出来事から判断しがちであったりするわけです。ですので、査定間近に良いインパクトの残る成果を出した方が昇進や給料アップなんかに繋がりやすくなるでしょう。

利用可能性バイアスを打破するためには、すぐに思い浮かんだ物事だけで判断を下すのでは無く、もう一二歩、深堀をして他の選択肢を探す努力をするのが良いでしょう。